

## いじめ撲滅に向けて自分にできること（後期始業式より）

- たくさんの意見をありがとうございました。
- Aくんの意見は間違っているという人、Aくんの意見も一部理解できるという人など、多くの考えがありました。しかし、みんながそんな中でもいじめを減らしたい、なくしたいという思いを持っていることがわかりました。
- ここに様々な意見をまとめました。周りの人たちがいじめに対して、どんなことを考えているのかを知ってください。誰もがいじめをしたいと思っているわけではないし、見かけたときには声をかけたいと考えている人もたくさんいます。
- いじめている人、いじめられている人、どちらも困っている人です。自分が困ったとき、困っている人を見かけたときは、まずは一声かけてください。そして、いち早く大人（先生でも保護者の方でも構いません）に相談・報告してください。

### <みんなの意見>

- ・自分がされて嫌なこと、言われて嫌なことを絶対に相手にしない。 (多数)
- ・いじめをなくすためには、「絶対許さない」「なくそう」という気持ちだけでなく、行動にうつさないと意味がないと思った。 (多数)
- ・友達の変化に少しでも気づけるように努力したい。気づいたときは助けられるようにしたい。 (1年女子)
- ・苦手な人には、ワンクッション距離をとって生活していけばよいと思う。 (1年男子)
- ・見て見ぬふりをしない。 (1年女子)
- ・一人一人がお互いの気持ちを考えて発言をする。 (1年女子)
- ・いじめている人がなくしたいと思わないと一生なくなれないと思う。 (1年女子)
- ・一人一人がいじめを否定し、撲滅をあきらめないことが大切だと思う。いじめは気持ちのよくない行為だから、そんな恥ずかしいことは自分でもしないし、他人にもさせないよう意識する。 (3年男子)
- ・いじめがあっても仕方がないではなく、あってはいけないと考えなければいけない。 (3年男子)
- ・個人の自由を許す限り、絶対になくならないと思う。Aくんは間違ったことは言っていないと思うが、大切なことはいじめを減らそうとする心構えだと思う。 (3年男子)
- ・いじめはどこでも起きているけれど、身のまわりの人は助けるのみ。相談にのるだけでもしてあげたい。 (3年女子)
- ・いじめがダメな理由を10個書くとよいと思った。それによりいじめている側が気まずくなる。 (3年女子)
- ・どうやったらいじめに早く気付けるかを話し合うとよいと思う。 (3年男子)
- ・自分の意見だけでなく、相手の意見も取り入れる。 (2年女子)
- ・いじめの加害者・被害者両方の気持ちを理解しなければならないと思う。 (2年女子)
- ・人が集まるといじめは起き、それは止められないというAくんの意見にたしかにとは思ったが、人を傷つけてしまうことは決して許されないと改めて思った。 (2年男子)

- ・いじめを完全になくすのは難しいことだとは思いますが、人が生まれ持ったものではないと思った。いじめはやってはいけないことに変わりはない。(2年男子)
- ・世界にはウクライナやイスラエルの戦争が今も起きているが、それは悪い大人の例だと思う。私は相手の気持ちまでくみとり、人間性の高い大人になりたい。(2年女子)
- ・小学生のことは、いじめがあったら止めると言っていたけれど、今はいじめが起きる前に気づいてあげられるようにしたいと考えている。友達の様子がいつもと違うなと思ったら、声をかけることが大切だと思った。(2年女子)
- ・やり返せばいじめなんて起きないのではと思う。(2年女子)
- ・「いじめは絶対にいけない」という言葉ではなく、「いじめは起きてしまうかもしれない」という考え方をしていきたいと思った。(2年女子)
- ・Aくんのいじめが起こるのは当たり前だという考えには賛成できない。(2年女子)
- ・いじめについて深く考え、話し合うことも大切だと思った。話し合うことで新しい発見や、様々な意見を学ぶことができると分かった。(3年女子)
- ・困っている人がいたり、自分にできることがあったりしたら積極的に手助けをしていきたい。(3年女子)
- ・いじめを見つけたときには、先生などの大人に報告する。(3年男子)
- ・全員が楽しく学校生活を送るために、いじめは絶対にあってはならないものなので、クラスの雰囲気をよくする。いじめを見て見ぬふりをしない。(3年男子)
- ・Aくんの言っていたことは間違っていないと思うけれど、自分がいじめを受けていたら、「しょうがない」「仕方がない」で終わってしまって、言い返すことができないのは、私はつらいと思った。(2年女子・3年女子)
- ・Aくんが言う「仕方がない」と、みんながいう「いじめをなくす」という言葉の間、「減らしていく」ことが大切なのかと思う。(3年男子)
- ・いじめは人間が生まれ持ったものという意味がよく分からなかった。いじめは仕方がないという考えに対して自分は反対である。(3年男子)
- ・目の前で起きているいじめに対して注意できる勇気を持てば、いじめは少しずつなくなっていくのではないかと。(3年男子)
- ・いじめている側は「いじり」だと思っていても、どんどんエスカレートして「いじめ」になっていくことが多いので気を付けたい。(3年女子)
- ・いじめをなくせないという考え方をやめることが大切だと考える。奈良中の(目指す生徒像)かきこいの中の「い」にある生命を大切にしたい生徒になれるよう残りの半年間生活していきたい。(3年女子)
- ・Aくんの考えも少しは正しいと思うけれど、それは周りの環境次第で変わると思う。周りの大人がいじめを見逃しているからAくんはそう思ったと思う。だから私たちは、次の世代のためにも、いじめている人、被害者を減らしたいと思う。(1年女子)
- ・いじめは許す許さない関係なく、やってはいけない。一人一人の命が大切。(1年男子)
- ・いじめを見かけたら、先生に相談してみて、それでも解決できなかつたら直接話しかけてみる。いじめられている人にも、勇気をだして声をかけて安心させてあげたい。(1年男子)
- ・無視をしない、相手の気持ちを考える、いじめを見たら注意する。(2年女子)